

とおかまち



ありがとう!大地の芸術祭

きずな

妻有への思い・固い絆をこれからも

過去最高の延べ約49万人が訪れ、多くの喜びと感動を与えた大地の芸術祭。地域を盛り上げたいと奮闘する人、それを支えたいとがんばる人、それぞれの思いが大地の芸術祭を成功に導きました。(2～11ページ参照)

主な内容

特集

●大地の芸術祭 それぞれの思い 2-11

ピックアップニュース

●100歳おめでとう／総合防災訓練 12-13

●小中一貫教育／みこし整備 14-15

お知らせ・ガイド 16-25

連載コーナー

●ときめきネットワーク／歴探 ほか 26-27

●元気予報／ぐるり十日町宝さがし ほか 28-29

タウンピックアップ 30-31

ジュニア芸術祭 32

駆け抜けた51日間 アートでつながる喜びと感動

―特集― 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2012 ―



「花咲ける妻有」



「下条茅葺きの塔」



「地域伝統芸能フェスティバルin越後妻有」



「縁結び田楽行列」福島県いわき市の高校生



「車座おにぎり」おにぎりのおもてなし



「越後妻有レインボーハット2012」



「鉢&田島征三 絵本と木の実の美術館」



「からむしの部屋 project」



「ツールド妻有2012」妻有全域で展開された里山と作品の魅力を巡るサイクリングイベント



「ツールド妻有2012」休憩ポイントでのおもてなし



「ツールド妻有2012」全国から集結した参加者

大成功の大地の芸術祭 喜びと感動を生み出した それぞれの思い

取り組む

喜びと感動づくりに 取り組んだ人

—あふれる地域への思いと
温かいおもてなし—

第5回展となる今回は、市内に約2000ある集落・町内会のうち作品制作に携わったところが初めて1000を超えました。また多くの地域で趣向を凝らしたイベントやおもてなしなどが行われました。来訪者は、作品鑑賞だけでなく、地元住民との会話や触れ合いも楽しんでいます。

「おらどこ流のおもてなし
～案内所・休憩所～」

お客さんを迎え、おもてなしする案内所・休憩所が期間中、いたる所で開設されました。回を重ねるごとに、お客さんを歓迎する気持ちが高まっています。浦田地区のオーストラリア・ハウス隣では、お母さんたちが、雪で冷やした採れたての野菜をふるまいました。「お客さんの笑顔がうれしかった」と喜んでいました。

「温かいおにぎりとお返し
～車座おにぎり～」

前回の芸術祭に引き続き今回は12集落で「車座おにぎり」が行われました。これは、おにぎりをお客さんにふるまい、お客さんからはお客さんができるお返しをもらって交流する取り組みです。歌を歌う人、お茶を点てる人など、そのお返しは十人十色でしたが、どの会場も笑顔に包まれ、交流が深まりました。



手造りの竹ドームテントを作り、休憩所としてお出迎えしました。暑さをしのげて、皆さん大喜びの様子でした



お返しに心を込めたマッサージを受ける小荒戸集落のお母さん（写真中）。初めて会う人でも、すぐに打ち解けられます



7月29日から9月17日の51日間に渡り開催された「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2012」。前回の第4回展の来場者数を大きく上回る延べ約49万人が訪れ、芸術や食、イベントなど越後妻有の魅力を満喫しました。広大な地域をキャンパスに見立てちりばめられた作品数は約370。普段、人通りの少ない里山の道路は作品巡りの車で混雑し、会場は多くの人出でにぎわいました。成功の裏にあった思いをひも解きながら、これからの大地の芸術祭の里、次回への開催のための取り組みへ目を向けてみます。

作品作りはアーティストと住民の協働作業

大地の芸術祭は、地域住民といっしょに作品を作り上げることが大きな特徴であり、大切なプロセスです。

新町新田集落と作家の岩城和哉さん、東京電機大学岩城研究室の皆さんとは、2009年の作品制作をきっかけに交流が始まりました。その集落の皆さんがスイカやとうもろこしなどを差し入れる関わりから始まり、会期終了後も交流が行われるようになりました。そして今回の作品「L A C H I K U」の協働制作へとつながっています。

岩城さんは、「孟宗竹400本以上を使った作品制作には測量・墨出など専門的な作業や、竹の搬入や組み立てなどの力仕事が多く、研究室のメンバーだけでは完成させることができませんでした。L A C H I K Uは、新町新田集落の皆さんといっしょに作り上げた作品です」と話します。

今では、集落のお祭りにも欠かせない存在となった研究室メンバー。作品制作を通じた交流が、地域を盛り上げ、活性化へのきっかけを生み出しました。



研究室メンバーと集落住民とで、複雑な作業を進めます

地域活性化のきっかけに！
～独自イベントの開催～

各地域で、地域を盛り上げる独自イベントも多くありました。「JR飯山線アートプロジェクト」として作品が展開された越後田沢駅では、駅がある田中集落と近隣の集落で構成されている田沢第2地区振興会の皆さんを中心に、地域を盛り上げようと、さまざまな催しが開催されました。



越後田沢駅前通りで行った「坂道大作戦」。地形を利用した催しに約350人ものお客さんが集まりました

Interview
やってみることで気付く
や生まれるものがある



田沢第2地区振興会
会長 山田 均さん
(上山・48歳)

作品の話が舞い込んできたときに、これを利用して活性化につなげようと思いました。「できることからやってみよう」という気持ちで取り組んだところ、地区を越えた協力があったり、地域への思いがある人たちが集まり始まりました、予想以上の盛り上がりになりました。おかげで、地区振興の土台ができたように思います。芸術祭への取り組みは、大変なこともありますが、やってみることで気付くや生まれるものがあります。

思い出ノート

取材した中で印象に残った作品やイベントをいくつか紹介します。



◆越後しなのがわバル

地の食材を使った料理が楽しめます。夜の雰囲気もすてき。



◆みどりの部屋プロジェクト

葉に紙を乗せ、鉛筆で転写した絵を壁に貼ります。壁に貼られた2万枚の葉は圧巻。



◆スノーワーカーズ・バレエ

除雪車が披露するロミオとジュリエットに観客も感動。



◆土壌モノリス

「Soil Museum もぐらの館」では土を体感し、土の魅力を伝える多くの作品を展開。

思い出ノート
取材した中で印象に残った作品や
イベントをいくつか紹介します。



◆アート列車

JR飯山線で開催期間中に1日1～2便走った列車。見ても乗ってもワクワク。



◆大地の記憶—かざぐるまの道B「water site」

1 kmに渡り配置された、かざぐるまは、まるで風の音を見ているよう。



◆LACHIKU

人間と竹の共生を探索作家のワークショップに子どもたちも夢中。



◆see/saw（シーソー）

ニブロールによる創作劇。地域の伝承などをテーマにした作品を展開。

作品作りはアーティストと来訪者の協働作業

作品の中には、単にできた作品を鑑賞するだけのものではなく、鑑賞に訪れた参加者といっしょに作品を作り上げていくものもあります。本町1で展開された、ブラジル生まれの日系三世でフランスを拠点に活動している、上西エリカさんの作品「Growing Memories」もその一つ。古い地図の台紙に参加者が思い思いのデザインを書き込んだ数千ものピースを組み上げ1枚の地図にします。上西さんは、「この地域の古い地図の一つ一つのピースに、それぞれのイメージや言葉を書いてもらいます。毎日少しずつ、地図が変化していくのがおもしろいですね。作家が1人で作り上げるのではなく、みんなで作品を仕上げるところに魅力があります」と創作活動の喜びを話していました。



お客さんといっしょに作品を作り上げる作家の上西さん（写真左）

Interview

シニアにも経験を生かして
できることがある



市橋 福雄さん
(千葉県千葉市・70歳)

こへび隊でも社会経験豊かなシニアたちで、プラチナクラブを充足しました。例えば、作品へのこへび隊の送迎など、シニアからできることで芸術祭を支えました。おかげで若い人が運転したときに比べ交通事故が減るなどの効果が表れました。これからも、この取り組みを浸透させ、3年後はもっと協力の輪が広がるように通年活動などでも情報発信したいです。

Interview

芸術祭に参加する楽しさ
思い出し



大淵 大地さん
(下条・10歳)

学校や家の近くの作品ができ上がってくると、ワクワクしてきました。芸術祭で何か自分でもできることがないかなあとと思って、夏休みからこへび隊になりました。インフォメーションセンターで作品案内などをしましたが、たくさんの方が来てすごいと思いました。ばくも芸術祭をやってるんだと思うと、とても楽しかったです。

支える

喜びと感動づくりを
支えた人

—場所・年齢・立場を超え、
越後妻有のために—

大地の芸術祭の原動力「こへび隊・地元サポーター」

大地の芸術祭には多くの人が関わっています。その中で、開催期間前の作品制作補助から、開催期間中の作品管理や受付業務など、幅広い業務を担っているのがこへび隊です。こへび隊は、老若男女1,236人が登録しています。また今年からは地元サポーターも組織され、多くの市民が芸術祭を支えようと参加しました。

地元サポーターが増えたことが今回の大きな変化



須田 禪さん
(泉町・28歳)

須田禪さんは、今年の6月からNPO越後妻有里山協働機構のスタッフになり、会期中は、こへび隊のとりまとめとして芸術祭に携わりました。

須田さんは、「こへび隊は地域住民と作家、作品とお客さんなどをつなげる役目があります。また、作品の説明などもすることから、こへび隊は作品のイメージを左右する重要な存在です」とこへ

び隊の役割を話します。今年の活動について須田さんは、「最近こへび隊員が少なくなっている傾向でしたが、今年は海外からの参加者、社会人の参加で盛り返しました。何よりも、地元の皆さんが運営のサポートに参加してくれたのが大きかったです」と振り返ります。「今までの縁を大切にしながら、もっと多くの地元の皆さんから関わってもらいたいです」と意気込みます。



スケジュールボードを見ながら日程を調整する須田さん



イエッリモ・マニエルさん
(イタリアコモ市・24歳)

7月下旬、1人の青年がボランティアとして十日町市と姉妹関係にあるイタリアコモ市から来市しました。彼の名前はイエッリモ・マニエルさん（24歳）。マニエルさんは2か月近くに渡りこへび隊の寄宿舎に滞在し、作品の制作や管理、受付業務を行いました。

マニエルさんはイタリアのミラノビッコッカ大学に通う学生で人類学を学んでいます。小さい頃から日本のアニメが好きで日本に興味を持っていました。数年前からは日本語の勉強を始め、コモ市の日本語教師から、姉妹都市十日町市のことを聞いていました。

今回、大地の芸術祭という国際的な現代アートの祭典があると聞き、ぜひ十日町市に行きたいと思ったそうです。マニエルさんは、「十日町市での経験はとてもすばらしいものでした。震災に直

たくさんの方の心やさしい人に出会えたことがうれしい

面した日本で何かボランティアをしたかった。姉妹都市のつながりで十日町市に巡り会えた。ここは本当に良い町です。豊かな自然と現代美術、そしてとても心温かい人たち。ここに滞在したことで日本語がさらに上達し、ボランティア経験をとおして視野も大きく広がりました。イタリアに帰ってから十日町市でのことをみんなに伝えたい」と片言の日本語で話していました。



作品の受付業務を行うマニエルさん

思い出ノート

取材した中で印象に残った作品やイベントをいくつか紹介します。



◆空の水／苔庭

神社の美しいコケに覆われた庭に作品が設置され、神秘的な空間に。



◆船の家

作品を収蔵した建物は、ライトアップされると列車との対比が美しい。



◆中原佑介のコスモロジー

芸術祭のアドバイザーでもあった氏の所蔵からは、その思いが伝わります。



◆里山アート動物園

ユニークでかわいい動物の作品に子どもたちも興味津々。

第4回展よりも30%増の入り込み客数を記録

今回の第5回展は前回の1.3倍にあたる488,848人の人出を記録しました。全国からは多くの人が集まり、外国からの来訪客も増えました。期間中は好天に恵まれ、各メディアの宣伝で認知度が上がり、拠点として整備した越後妻有里山現代美術館「キナーレ」の発信力が大きかったことや、全国の中学生以下の子どもたちの鑑賞を無料にしたことが、にぎわいの大きな要因となりました。

また、地域の食材や特産品を素材にしたアートグッズも好評を博し、地域経済の発展に大きく貢献しました。

【大地の芸術祭の実績】

回	開催年	入込客数	参加集落	作品数	経済波及効果※
1	2000年	162,800人	28集落	146作品	100億5,400万円
2	2003年	205,100人	38集落	224作品	131億9,000万円
3	2006年	348,997人	67集落	329作品	56億8,100万円
4	2009年	375,311人	92集落	365作品	35億6,000万円
5	2012年	488,848人	102集落	367作品	集計中

※初期に建設されたステージ作品などのハード事業を含む

楽しむ

喜びと感動の芸術祭を 楽しんだ人

― 広がった笑顔と交流 ―

アートを道しるべに全域を巡る「作品鑑賞パスポート制覇」
大地の芸術祭巡りに欠かせない鑑賞パスポート。全ての作品を鑑賞しパスポート制覇を達成した人のうち、お二人に話をうかがいました。

Interview
地元の人や他のお客さんと
のふれあいが気持ちいい



丸山美由紀さん／慧悟くん
(荒屋・33歳／3歳)

前回まではあまり見ていなかったの、今回は作品をしつかり見ようと、子どもといっしょに作品巡りをしました。巡ってみると、市内に住んでいながら、行ったことがない場所がたくさんあることに気付きました。狭い道を不安になりながら進んでいた先に集落を発見したときの安心感と感動が心に残っています。地元のお年寄りや県外のお客さんとのふれあいも気持ちがよく、子どもにとっても良い思い出となりました。

Interview
この地域が注目されて
いることを実感



高野 貴光さん
(山本4・41歳)

世界中の名だたるアーティストの作品を楽しめるということ、ほぼ毎週末に作品を見に家族で出かけました。会期後半のお客さんの多さに驚き、この地域が注目されていることを強く実感しました。広いので全て見るのは大変ですが、まとまっていてもこのイベントの良さがなくなってしまう。興味がある作品に絞り、地域をくまなく見て回るなどの楽しみ方もありますので、ぜひ多くの人から楽しんでほしいです。

来場者のたくさんの笑顔と声「Facebook紹介」

大地の芸術祭では、Facebookページも立ち上げ、リアルタイムに情報を発信しました。その中の企画の一つに、来場者のピース写真を撮影してアルバムにしたものがあります。Facebookに掲載した写真は全部で472枚。喜びと感動が表現された写真とFacebookに掲載されたコメントをいくつか紹介します。



素敵な時間をありがとうございました。新潟が妻有が大地の芸術祭が大好きになりました(^_^)お疲れさまです。また、三年後にお会い出来るのを楽しみにしています☆ (K.Nさん)

また次回も行きたい！
(M.Tさん)

最高でした！
(D.Sさん)

今年はキャンプで一回。娘と新幹線初旅でダイジェストでもう一度観ました！三年後もいきまーす。(M.Sさん)

第1回から観てきましたが、今回ほど人との触れ合いを強く感じた芸術祭はなかったのではないかと思います。言葉では言い切れない感動をアリガトウ！ (IKさん)

それぞれの思いを つなげて未来へ

― 次回の開催に向けて ―

大成功に終わった5回目の大地の芸術祭。今回の取り組みで何をかんたのか、今後はどのような取り組みを展開していくのか。芸術祭に深く関わった市民の樋口道子さんと実行委員長の関口市長の言葉から考えます。

越後妻有には何度も訪れたくなるような魅力があります



樋口 道子さん
(高田町1・66歳)

樋口さんは、2006年に地元こへび隊として活動を始め、同年にできた作品「うぶすなの家」に深く関わりながら、大地の芸術祭を支援しています。樋口さんは今回の芸術祭を、「雪消えが遅かった影響などで準備が遅れ、お客さんが来てくれるか心配しましたが、このように大勢のお客さんが来てくれるとは思ってもみませんでした」と今回の印象を語り、「前回までのお客さんがリピーターとなり、その人たちが新しいお客さんを連れて来たことが、大きかつ



たと思います」と振り返りました。樋口さんは、ツアーガイドもこなすなど多方面で活躍しています。「以前に知り合ったお客さんで、会期中に5回も訪れた人がいました。何度も何度も来なくなるような魅力が越後妻有にはあるということでしょう」と大地の芸術祭を通じたこの地域の魅力の発信に確かな手応えを感じているようでした。

これからは大地の芸術祭の里を発信することが大事
それが3年後につながります



大地の芸術祭実行委員長である関口市長は閉会式で、「今回はたくさんのお客さんが訪れ、

楽しみ、気に入ってくれたということはあるかもしれません」と、芸術祭の成功を報告しました。開会式で、「第6回展につなげたい」と、継続への思いを披露しましたが、今後の取り組みとして、「これから、大地の芸術祭の里を全世界にアピールしていくことが大事」と芸術祭そのものだけでなく、その

取り組みができる里『越後妻有』自体の魅力を常に発信していくことを力を込めて語りました。そして、「越後妻有のことを気にかけてくれる、応援してくれる皆様を大切にしながら、第6回展に向けた3年間をがんばろう」と次回の開催を意気込みました。

大地の芸術祭の里である越後妻有の魅力は、自然と共存する暮らしや集落行事など、脈々と続いている生活文化によるものです。私たちがこのことに気付き、自信を持って来訪者や次の世代に伝えることが、3年後のさらなる発展・成功を導く鍵かもしれません。

思い出ノート

取材した中で印象に残った作品やイベントをいくつか紹介します。



◆さよなら儀明劇場

今回の芸術祭の後、取り壊される儀明劇場で行われたさよならイベント。



◆上蝦池名画館

世界の名画を集落住民が再現した写真館。出来映えの良さに来訪者も目が釘付け。



◆オーストラリア・ハウス

長野県北部地震の倒壊で再建された作品は、震災復興のシンボル。



◆おてんとさま+あしあと

三省ハウスに展開されたこの作品は子どもたちの元気な姿の形です。

楽しみはまだ終わらない

「越後妻有 秋2012」と作品公開のお知らせ

11月4日(日)までの間に開催される、越後妻有 秋2012のイベントや公開作品をお知らせします。



お米で表現する現代の風景／山根秀信

イベント／企画展

▼わらアートin 越後妻有

収穫を祝う秋、越後妻有に巨大なわらアートが出現します。

期日…11月4日(日)まで

会場…まつだい「農舞台」周辺

▼山根秀信「風景」展

くお米で表現する現代の風景く米農家である作家が、米で表現された都市郊外と限界集落を、観客の参加で景観を変化させます。

期日…12月24日(祝)まで 午前10時～午後5時(最終入館4時30分)

休館日…水曜日

会場…まつだい「農舞台」

入場料…大人500円、小・中学生300円

おにぎりワークショップも開催されます。詳しくは問い合わせください。(要予約・20人)
日時…11月3日(祝)午前10時～正午
参加費…1,000円

公開作品

過去の芸術祭の恒久作品と第5回大地の芸術祭作品の一部を公開します。屋外作品もあります。※いずれも入館料が必要

▼越後妻有里山現代美術館「キナレ」

開館時間…午前10時～午後5時
休館日…水曜日

▼まつだい「農舞台」

開館時間…午前10時～午後5時
休館日…水曜日

▼絵本と木の実の美術館

開館時間…午前10時～午後5時
休館日…水・木曜日

※冬期閉館(11月30日(金)までの開館)

※秋の企画展「3階の教室は海だった」11月30日(金)まで

(鑑賞料…大人700円、子ども300円)

▼光の館

開館時間…午前11時30分～午後3時

※12月～翌年3月は水曜日休館

▼「森の学校」キヨロク

開館時間…午前9時～午後5時

休館日…火曜日

▼脱皮する家、夢の家、最後の教室、うぶすな



3階の教室は海だった (絵本と木の実の美術館)

の家、オーストラリア・ハウス
開館時間…11月4日(日)までの土・日曜日、祝日午前10時～午後4時

十日町市総合防災訓練を実施します

■問合せ
防災安全課
☎757-3197

中越大震災の発生から、まもなく8年が経過しようとしています。当市は、その後も地震、豪雨、豪雪と、たび重なる大きな災害に遭いました。災害は、いつ起こるかわかりません。被災で得た教訓・経験などを風化させず、いっそうの防災意識を高めるため、総合防災訓練を実施します。

- 日時：10月28日(日) 午前9時～11時30分
- 主会場：南中学校
- 被害想定（要約）

10月28日午前9時6分、中越地方を震源とする地震が発生し、十日町市役所では震度6強を、各支所では震度5強を観測した。この地震により、家屋が倒壊し、火災や降り続いた雨の影響で土砂災害が発生している。また、停電などにより、ライフラインはほとんど寸断された状態である。

- 主な訓練内容（当日の天候などにより変更の可能性あり）

災害対策本部設置訓練、緊急情報伝達訓練（FM告知受信機・十日町あんしんメール・携帯電話『エリアメール』『緊急速報メール』を作動）、高所救助訓練、多数傷病者応急処置訓練、住民とNPO組織の協働による防災訓練、倒壊家屋救助訓練、消火訓練、起震車による震度体験、災害派遣車両展示 など



総合防災訓練の実施に際し、下記の点についてお知らせします

訓練の際は、FM告知受信機・十日町あんしんメール・携帯電話『エリアメール』『緊急速報メール』を作動させ、緊急情報伝達訓練を行います。訓練当日は、下記のとおり訓練情報がそれぞれ伝達されますので、お知らせします。



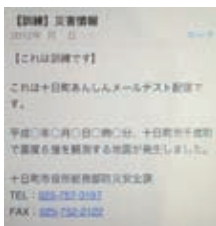
1 FM告知受信機から訓練情報を放送します



訓練当日、午前9時7分ころから、各家庭に配置したFM告知受信機を起動させ、訓練情報を放送します。スイッチを切っていても、一時的に起動して最大音量で訓練情報が流れます。

【普段から突然放送が流れる現象について】「スイッチを切っているのに、突然放送（雑音）が数秒間流れる」という問い合わせがあります。この現象は電池切れをお知らせするサインですので、単三電池3本を交換してください。

2 十日町あんしんメールで訓練情報を配信します



訓練当日、午前9時7分ころから、十日町あんしんメールサービスに登録の携帯電話などへ、訓練情報を配信します。

【十日町あんしんメールについて】十日町市に関する災害や安全・安心に関する情報を、登録されている携帯電話などへ電子メールで配信するサービスです。サービスを受けるには、配信登録が必要です。登録していない人は、訓練までにぜひ登録をお願いします。（配信登録方法は、防災安全課に問い合わせてください。また、市ホームページでも詳しい方法をお知らせしています）

3 携帯電話『エリアメール』・『緊急速報メール』で訓練情報を配信します

訓練当日、午前9時15分ころから、NTTドコモの『エリアメール』、またauおよびソフトバンクの『緊急速報メール』サービスを活用し、携帯電話（スマートフォン含む）へ訓練情報を配信します。※機種によってはマナーモードにしているでも携帯電話が鳴動しますのでご注意ください

【エリアメール・緊急速報メールについて】携帯電話事業者のネットワークを活用し、携帯電話へ緊急性が高い災害避難情報などを一斉配信するサービスです。お持ちの携帯電話が、事業者のサービス対応機種で、市内の電波受信エリアにあり、電源が入っていれば情報が配信されます。これらの条件がそろった全ての携帯電話に配信されますので、一時的に市内に滞在している旅行者なども、緊急情報を知ることができます。なお、このサービスの受信に通信料などはかかりません。

100歳おめでとうございます

新潟県と十日町市では、敬老の日に合わせて、本年度100歳を迎える24人にお祝いをしました。また、市では本年度88歳を迎える405人に祝金を贈りました。

敬老の日の前日9月16日に、関口市長と県十日町地域振興局の高木局長が、本年度100歳を迎える24人のうち11人を訪問し、内閣総理大臣の祝状と銀杯、県知事の祝状と記念品、市長の祝状と祝金を贈りました。



（9月17日現在）	高橋	樋口	桑原	鈴木	廣田	渡邊	根津	鈴木	佐藤	南雲	永井	清水	高橋	春日	風間	庭野	中嶋	高橋	鈴木	小川	星名	大嶋	高木	庭野
	フジ	スギノ	スギ	定一郎	キクノ	イチ	シヅ	キヨ	ツゲ	きみ	マツ	キク	クマ	キクイ	ケサオ	ユキ	トメ	ハル	テフ	エツ	ツル	キミ	平八	マサ
	（不老閣）	（田野倉）	（田沢本村）	（中里下山）	（小原）	（高道山）	（七川荘）	（七川荘）	（田中町）	（田中町）	（木落）	（あかね園）	（千手上町）	（樽沢）	（長里）	（高田町4丁目）	（まほろばの里川治）	（まほろばの里川治）	（野田）	（五軒新田）	（中条旭町）	（本町4丁目）	（十日町栄町）	（田中町本通り）

本年度100歳を迎える皆さん（敬称略）

平成24年度

長寿番付

9月17日の敬老の日現在、市内の満100歳以上の高齢者は50人で、番付表では101歳以上の上位30人を紹介します。

東					寿	西				
名	前	生年月日	年齢	行政区など		名	前	生年月日	年齢	行政区など
高橋	きよさん	明治36年7月1日	109歳	川治上町2	横綱	服部	ミサヲさん	明治38年7月27日	107歳	七川荘
上村	ノイさん	明治40年1月20日	105歳	あかね園	大関	村山	モトさん	明治40年12月18日	104歳	本町6ー1
大井	正司さん	明治41年12月13日	103歳	美咲町	関脇	志賀	マツさん	明治42年4月17日	103歳	下川手
桑原	ハツさん	明治42年5月24日	103歳	田代	小結	樋口	トクさん	明治42年6月22日	103歳	朴木沢
蕪木	倉治さん	明治42年7月22日	103歳	諏訪町	前頭1	佐藤	修一さん	明治42年9月20日	102歳	高山4
小林	サワさん	明治42年11月8日	102歳	あかね園	前頭2	金子	シマさん	明治42年11月20日	102歳	稲荷町2
小泉	チヨさん	明治43年2月10日	102歳	三好園	前頭3	瀧沢	綾子さん	明治43年5月27日	102歳	七川荘
樋口	キクさん	明治43年6月20日	102歳	不老閣	前頭4	福原	セキさん	明治43年10月5日	101歳	松代
樋熊	カクさん	明治43年10月10日	101歳	三好園四ツ宮	前頭5	岩田	ヨキさん	明治43年10月20日	101歳	三好園
野上	イネさん	明治43年11月14日	101歳	千歳町1	前頭6	池田	チヨノさん	明治43年12月3日	101歳	本町6ー1
樋口	ツタヲさん	明治43年12月5日	101歳	不老閣	前頭7	村山	國義さん	明治44年1月11日	101歳	川治下町3
中町	テイさん	明治44年1月11日	101歳	下条中央通り	前頭8	富井	ミヨシさん	明治44年1月16日	101歳	あかね園
南雲	ブンさん	明治44年3月4日	101歳	田中	前頭9	中島	カトさん	明治44年3月23日	101歳	本屋敷
寺崎	シゲさん	明治44年5月4日	101歳	ほくほくの里	前頭10	江村	タミさん	明治44年8月18日	101歳	七川荘
南雲	ナカさん	明治44年9月1日	101歳	堀之内	前頭11	藤田	サダさん	明治44年9月3日	101歳	根深

（9月17日現在）

試行2年目を迎えた 小中一貫教育

◆問合せ：学校教育課

☎757-3336

モデル中学校区の 本年度の取組み

昨年度の試行では、成果とともに課題もありました。本年度は、各中学校区が改善を加えて取り組んでいます。そして、26年度からの全ての中学校区での本格実施を見据えて、モデル中学校区としてほかの中学校区に先駆けて指導計画や実施計画の作成などに取り組みます。

モデル中学校区共通の取組み

◎3つの指導計画の作成

「算数・数学に関する領域別指導内容系統表」「不登校対策等を含めた心の教育に関する指導計画」「総合的な学習の時間に関する指導計画」を作成します。

◎本格的な実施計画の作成

26年度以降の本格的な実施計画を作成します。

◎合同発表会の開催

2年間の試行のまとめを12月26日に合同で発表します。

各中学校区の主な取組み

◎下条中学校区

「向上心と思いやりの心を持ち仲間と協力して力強く未来を切り拓く子ども」を目指しています。小学1年生から中学3年生までが混在する班で行うジャンボ若葉班活動では、班員それぞれが仲間同士の人間関係を確認し合いながら、協力して課題を解決していく力をつけていきます。このほか、運動会や文化祭などで小・中学生が交流したり、学力向上対策として、乗り入れ授業をしたり、小・中学校教員が授業を相互に参観し合い、授業の改善に取り組みます。

◎川西中学校区

「自分に自信を持ち、仲間と協力する川西っ子」を目指しています。仲間と切磋琢磨し、良好な人間関係を結び、生き生きとした学校生活を過ごすことで、学習意欲や課題解決能力が高まり、学力向上につながります。主な活動では、合同修学旅行や合同授業などの小小連携活動、乗り入れ授業やいじめ根絶集会などの小中連携活動、かけはし懇談会などの地域連携活動、小・中学校

9年間のプログラムづくりなどでの職員連携活動などを行います。

◎中里中学校区

「ふるさと中里と中里の人を愛し、自信をもって自分と地域の将来を切り拓いていく子ども」を目指しています。全ての教職員で作成した「中里の子育成プラン」を基に、保育園から小・中学校までを通して、自立する力、人間関係をつくる力、社会を築く力、将来を見通す力をつけていきます。

主な活動では、小学6年生の中学校体験や、中学1年生の補習授業での小学校教員の支援、保・小・中と保護者が連携した子育てフォーラム開催などに取り組みます。

◎松代中学校区

「生まれ育った松代を誇り、健やかに、確かに、しなやかに生きる子ども」を目指しています。学力向上対策として、日々の授業で学習規律や板書、ノート指導などで共通の取組みをしながら、乗り入れ授業や小・中学校教員相互の授業参観などを行います。このほか、小・中学生が居心地良くやる気を持って学校生活を送って

いるか調査・分析したり、体育の授業で共通のトレーニングを取り入れたりと、小中イベントカレンダーを作成したりします。



中里中学校夏季補習授業

小中一貫教育Q&A

Q 小中一貫教育といじめとの関係はどうですか？

A 先進市町村の例を見ても、小中一貫教育を始めてからいじめなどの問題が増えたという報告はありません。小学校間や小・中学校間で多様な交流活動を行うことにより、児童生徒の自己有用感やコミュニケーション能力、規範意識の向上など社会性が育成され、いじめ防止に効果があることが期待されています。

市内で4団体が みこしを整備しました



～平成24年度コミュニティ助成事業～

自治宝くじの助成金であるコミュニティ助成事業の助成を受けて、4団体がみこしを整備しました。

コミュニティ助成事業は、(財)自治総合センターが宝くじ社会貢献広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源としています。宝くじの社会貢献広報を行うとともに、コミュニティの健全な発展を目指し、みこしや公園遊具など地域コミュニティ組織を対象にしたさまざまな活動に助成を行

っています。

今回助成を受けた団体では、整備された備品の活用を通じて、地域コミュニティ活動のさらなる活性化や世代間交流などを図っていくことにしています。

※平成25年度のコミュニティ助成事業の募集については、市報9月10日号でお知らせしました。募集期間は10月31日(水)までです

■問合せ：企画政策課協働推進係 ☎757-3693

細尾、背戸、北鐙坂、四日町第2がみこしを整備

細尾祭友会



鐙神会



背戸町内ニコニコ会



四日町第2 若いしょの会



お知らせ・ガイド

十日町・川西・中里地域と松代・松之山地域間の☎には市外局番 025 が必要です

とおかまちハッピー嬉シエルジュ
スポーツ合コン

ビーチボールを使ったバレーボールで、体も心も動かしながら、すてきな出会いをサポートします。疲れた体にスーITSも用意しています。
日 10月27日(土)午前10時30分〜午後4時(受付9時30分)
会 市総合体育館
対 20〜35歳までの独身男女各20人(市内外問わず)
※応募多数の場合は抽選
¥ 男性3,500円、女性2,000円
申・問 10月17日(水)までに㈱エフエムとおかまち(☎752-7830)

国際大学2012秋日本
語教育ワークショップ

留学生に日本語を教えるためのワークショップです。
日 10月27日(土)、11月10日(土)・17日(土)、12月1日(土)・8日(土)午後1時〜4時※全5回
会 国際大学(南魚沼市)
¥ 1回1,500円
持 教科書「みんなの日本語初級I本冊」(スリーエーネ

日時 休 休館日 会場 対 対象者 ¥ 料金 定 定員 内 内容 持 持ち物 講 講師 他 その他 ✕ 締め切り 申 申込み 問 問合せ F A X

多様な動植物たちや棚田での米作りを中心とした暮らしなどについて、見て、触れて、遊べる体験型の展示です。
日 10月13日(土)〜平成25年6月30日(日)午前9時〜午後5時(入館は4時30分まで)
休 火曜日※12月25日(火)〜31日(月)は休館、1月1日〜3日は開館
¥ 大人500円、小・中学生300円、小学生未満無料(市内の小・中学生は無料)※10月13日(土)〜21日(日)は十日町市民無料
会・問 「森の学校」キヨロロ(☎595-8311)

お知らせ・ガイド

雪・森・農・里展

催し・講座

絵画教室(ひまわり会)
第14回 会員展

10月18日(木)まで午前9時30分〜午後7時※14日は5時まで、18日は4時まで
会 情報館
問 原(☎757-3037)

四人展 土と焰

山内正胤・外木正合・若井一男・佐藤敏夫らによる妻有焼陶芸センターの登り窯で焼いた作品展。
日 10月20日(土)・21日(日)午前10時〜午後6時
会 飯塚隆郎(美雪町1)
問 十日町新聞社(☎752-3118)

クラシックカー大会
La Festa Autunno 2012

約100台のクラシックカーが紅葉広がるチェックポイントの清津峡を駆け抜けます。
日・会 10月20日(土)午前11時50分〜午後0時50分ごろ清津峡小出温泉通過
市 市内通過ルート⇨国道117号(津南方面から)⇨山

第8回 ほくほく線元気まつり

見てよし、食べてよしの元気が出るお祭りです。
日 10月28日(日)午前10時30分〜午後4時
会 ほくほく線まつだい駅駅前広場、松代本町通り
内 20チームによるよさこい演舞(午前と午後の2回)・7店舗による「そばまつり」
他 来年のポスターに掲載するための「ほくほく線元気まつりフォトコンテスト」を開催します。応募には事前のエントリーが必要です
申・問 松代町商工会(☎597-2006)

第13回 ゆくら収穫祭

利き酒や餅つき大会、地元

崎交差点(ユーモール近く)⇨国道353号⇨清津峡(チェックポイント)⇨国道353号(塩沢方面へ)⇨中里支所地域振興課(☎763-2511)

3施設合同文化祭
第12回 みつば祭

10月20日(土)午前10時〜午後2時30分
会 なごみの家、エンゼル妻有内作品展、授産製品販売、ステージ演芸、軽食など
問 みつば祭事務局(十日町市身体障がい者福祉センター内☎757-9438)

十日町市民協働の森づくり
第1回 植樹祭開催

森の再生を願って、5年間にわたる植栽を予定します。
日 10月20日(土)午前9時10分〜
会 十日町市民スキー場跡地(関根2)
内 式典終了後に協賛業者、市民約100人で約1ヘクタールの植樹を実施
問 事務局・小島(☎080-2275-7428)

芸能の上演などがあります。
日 10月28日(日)午前9時〜午後3時
会・問 ゆくら妻有(☎763-2944)

十日町市書道協会研修会

10月28日(日)午後1時30分〜4時30分
会 サンクロス
¥ 3,000円
内 作品批評と講話(想いを書に託して)
講 中村暢子さん(新潟県書道協会理事)
申・問 10月20日(土)までに滝沢(☎752-2728)

扇踊会45周年記念
舞踊公演

舞踊扇踊会社中45周年を記念して特別公演を行います。
日 10月28日(日)午前10時開演
会 クロステン
¥ 2,000円
問 庭野(☎757-8151)

十日町青年会議所
清水慎一さん講演会

自身の経験を基に企業成長の秘話やスタッフの心がひと

なかまの家収穫文化祭

10月21日(日)午前9時30分〜午後2時10分
内 演芸会(音楽クラブ発表、マジックなど)、自主製品や焼き鳥などの販売
会・問 なかまの家(☎768-4013)

能楽 箏曲大正琴
「邦楽を楽しむ会」

伝統音楽を学んでいる4団体での合同演奏会です。
日 10月21日(日)午後1時開演
会 市民会館
¥ 500円※中学生以下無料
● 参加団体⇨観世会、翠染会、双葉会、琴勇会
問 滝沢(☎757-9270)

食の安全・安心に関するイベント
きのこ講習会

日 ①10月21日(日)午前10時〜午後3時、②11月3日(文化の日)午前10時〜午後3時
会 ①湯沢カルチャーセンター(湯沢町)、②道の駅南魚沼「雪あかり」(南魚沼市)
問 南魚沼地域振興局健康福祉環境部(☎025-772

平成24年度 秋季特別展
「異形の縄文土器」
記念講演会

新潟県内ではほとんど見ることができない釣手土器についての話です。この土器は縄文時代中〜後期にランプとして使用されていたと考えられています。
日 10月27日(土)午後1時30分〜3時30分
¥ 無料※事前申込み不要
内 「縄文中期の釣手土器―長野県を舞台に―」
講 綿田弘実さん(長野県埋蔵文化財センター)
会・問 博物館 ☎757-5531

キヨロロ研究員のミニ講演会

キヨロロの若手研究員4人の博士によるミニ講演会を、今年も4週にわたり連続講座で行います。講演の後にはおしゃべりタイムを設けました。日ごろ疑問に思っていることなどいろいろと質問してください。
日 10月26日(金)〜11月16日(金)までの毎週金曜日午後6時30分〜7時45分(講演約45分・おしゃべりタイム約30分)
◆ 10月26日(金) 担当：小林誠
ブナのお花見からクマの出没を予測できるか？
◆ 11月2日(金) 担当：鶴智之
生き物の進化を考えよう
〜とても小さな昆虫“ハナノミ”を例に〜
◆ 11月9日(金) 担当：伊藤千恵
外来種が増えやすい環境って、どんな環境？
◆ 11月16日(金) 担当：岩西哲
十日町市はありんこの楽園？
〜十日町市内に生息するアリ類の多様な生態〜
会・問 「森の学校」キヨロロ ☎595-8311

環境部(☎025-772

平成24年 交通安全大会

交通安全講話のほか、県警音楽隊による演奏とカラーガード隊による演技などが行われます。
日 10月27日(土)午後1時30分〜3時30分(受付1時)
¥ 無料
会 松代総合体育館
問 十日町交通センター(☎757-6055)

ソイ・ヒターナ
フラメンコ教室発表会

10月14日(日) 開場/13:30 開演/14:00 前売券 1,000円 (当日券:1,500円)
十日町市市民会館(大ホール)

プロ舞踊団による情熱の舞!
フラメンコと和太鼓の競演!

十日町小唄ほか
主催・お問合せ/スタジオ「ソイ・ヒターナ」入沢百合子(025-768-3626/090-1123-4314)

『トオコンseason3』始まります！

県内外の大学生が「十日町を全国ブレイクさせるビジネス」または「過疎を逆手にとるビジネス」をテーマにビジネスプランを競い合う、第3回十日町市ビジネスコンテスト『トオコンseason3』が始まります。予選会・本選会ともに無料公開され、どなたでもご覧になれます。大学生から見た十日町市の可能性や姿を直接感じてみませんか。多くの皆さんからの来場をお待ちしています。

- 日時・会場
- ◎新潟予選…10月20日(土)クロスステン
- ◎東京予選…10月27日(土)田中田村町ビル（東京都港区新橋）
- ◎本選会…12月15日(土)クロスステン※時間は、いずれも午後1時～5時30分（予定）
- 提案プラン名（所属大学）
- ◎新潟予選
- ①「着地型観光事業」（長岡大学）
 - ②「スタンプラリーで商店街をにぎやかに」（新潟産業大学）
 - ③「あなたも農業できますよプロジェクト」（新潟大学）
 - ④「バイオマスタウン十日町」（長岡技術科学大学）
- ◎東京予選
- ①「チームcottage」（早稲田大学）
 - ②「アニメ・漫画招致で新ビジネス」（日本大学）
 - ③「CROWN・TOWNー十日町ー」（東洋大学＆法政大学）
 - ④「十日町×アート プロジエクト」アートなギフトの



- 提案」（東京農工大学）
- ⑤「大地の音楽祭」（東京家政大学）
 - ⑥「十日町学生フォーラム」（千葉大学）
 - ⑦「十日町呑み力（の魅力）」（早稲田大学）
 - ⑧「きものによる＋α」（埼玉大学）
- ※提案プラン名は変更になる場合があります

各予選会の上位3チームずつの計6チームが12月の本選会に進出します。本選会では最優秀賞を目指した熱いプレゼンテーションが展開されます。

◎産業政策課産業企画係（☎757-3139）詳しくは公式ホームページ（<http://www.tocon.jp/>）

会（群馬県前橋市）、新川古代神保存会（富山県滑川市）、小平尾民謡保存会（旧広神村）、西中野俣芸能保存会（旧栃尾市）、神谷芸能保存会（旧越路町）、小高棒踊り保存会＆津軽三味線集団堀沢ファミリー（旧川口町）、横町屋台人形巫女爺保存会（小千谷市）、十日町市民謡協会、十日町市舞踊協会、上新田八木節同好会＆水和我、下条中学校、下条天神ばやし保存会、新保広大寺節保存会（以上十日町市）

◎生涯学習課文化振興係（☎757-8918）

物づくり体験塾in越前浜 こだわり物づくり体験

【第1回「栗の葉染め＆ねずみ色」コットンバッグ染め体験】

旧川西町生まれの染め作家が染め体験の指導をします。

日11月4日(日)午前10時～午後1時（受付9時30分）

¥1,600円（昼食、保険、材料費込）

◎先着30人（小学生以上）

全国新保広大寺大会

十日町市無形民俗文化財「新保広大寺節」の保存会設立40周年を記念し、全国新保広大寺大会を開催します。

日11月4日(日)午後1時開演（開場は午後0時30分）

◎市民会館

◎前売1,000円（当日1,200円）中学生以下500円

●チケット販売はみよしの湯、各公民館

●出演団体は木崎音頭保存会（群馬県太田市）、桐生八木節連絡協議会（群馬県桐生市）、第25代八木節競演大会優勝者（群馬県桐生市）、5代目堀込小源太&上州桂

◎講星名康弘さん（染め作家）持多少汚れてもよい服装、エプロン、手袋（台所用）

◎会・申・☎電話またはFAX（参加者の住所・氏名・電話番号・年齢）で新潟県立青少年研修センター（新潟市西蒲区）（☎0256-77-2111、F0256-77-2114）

とおかまちハッピー婚シエルジュ お料理合コン

参加者で協力して料理を作りながら、出会いの場を提供します。レシピは簡単なものを用意するので初心者でも大歓迎です。

日11月11日(日)午前10時30分～午後4時30分（受付9時30分）

◎会 千手中央コミュニティセンター

◎対 35歳以上の独身男女各15人（市内外問わず）

※応募多数の場合は抽選

◎男女共に3,500円

◎申・☎10月31日(水)までに㈱エフエムとおかまち（☎752-7830）

縄文めぐりツアー 「水と土の芸術祭と史跡 古津八幡山遺跡の旅」

日11月18日(日)

◎日程は十日町市～新潟市文化財センター～水と土の芸術祭メイン会場～昼食（新潟潟ふるさと村）～史跡古津八幡山遺跡（いずれも新潟市）～十日町市

◎定 2,800円

◎定 40～80人

◎申・☎11月5日(月)までに博物館（☎757-5531）

本町分庁舎ギャラリー

小坂幸平「がらがんぼー写真展」

地域の伝統芸能や風習を追い続けている写真家が、郷土に残る風習を撮った作品展。

日11月22日(木)まで午前8時30分～午後9時

◎会 ぽぽろ広場（本町分庁舎内）

◎無料

◎◎生涯学習課（☎757-8918）

24年度公民館まつり

【10月27日(土)・28日(日)】

2265)

◆中央公民館

●時間 午前9時～午後9時（28日は午後3時まで）

◎内 講座生や利用団体による作品展（生け花・焼き物・写真・手芸・工芸・俳句・書道・洋画・絵手紙・活動記録・映像作品など）、販売コーナー（すし・赤飯・廃油せつけん・不用品・焼き物）、飲食コーナー、ゲームコーナー、スタンプラリー、茶室、ステージ発表（音楽発表・ダンス・合唱・フラメンコなど）※茶室、ステージ発表は28日のみ

◎会・☎中央公民館（☎757-5011）

◆松之山公民館

●時間 午前9時～午後6時（28日は午後3時まで）

◎会 松之山自然休養村センター、松之山体育館

◎内 芸能祭（文化協会発表・新潟高橋竹山会民謡ショーほか）、美術展（講座生・文化協会・地域住民の作品展示ほか）、産業祭（もちつき・きのこ井の試食会ほか）※27日は美術展のみ

◎☎松之山公民館（☎596-032）

◆中条公民館新座分館

●時間 午前10時～午後2時30分

◎会 新座コミュニティセンター

◎内 焼物・生け花作品展、バザー（うどん・おでん・焼き鳥など）、スポーツ吹き矢

◎☎中条公民館（☎752-748）

◆飛渡公民館

●時間 午前9時～午後2時

◎会 飛渡第一小学校（飛渡第一小学校と共催）

◎内 講座生・PTA・児童の作品展（生け花・焼き物・書道・写真・絵画・工作など）、ステージ発表（児童の合唱・劇、二胡サークル・あわせおけさ保存会舞踊・飛芝の会演劇ほか）、飛渡資料館（郷土と学校の歴史資料展示）、喫茶コーナー、三ヶ村いきいき館販売コーナー、児童が収穫した米でご飯とけんちん汁のサービス

◎☎飛渡公民館（☎759-032）

◆水沢公民館

●時間 午前9時～午後3時30分

◎内 講座生・利用団体・地域住民の作品展、公民館行事の写真パネル展示、演芸発表会、もちつき、きのこ汁無料サービス、農産物販売、軽食バザー、無料茶席

◎会・☎水沢公民館（☎758-3101）

【11月2日(金)・3日(文化の日)】

◆松代公民館

●時間 午前9時～午後4時（3日は午後3時まで）

◎会 松代総合センター、第一区民会館

◎内 松代地域文化協会・松寿大受講生・きらく塾受講生・地域住民の作品展、茶道体験コーナー（3日のみ）

◎☎松代公民館（☎597-301）

【11月3日(文化の日)】

◆中条公民館大井分館

●時間 午前9時～午後3時

◎会 大井コミュニティセンター

◎内 講座生・地域住民の作品展

動を起こす場合があります、大変危険です。薬物乱用による恐ろしい結果を正しく理解し、絶対に手を出さないという自覚を持ちましょう。薬物に関する相談は、十日町保健所（☎757-2402）、または精神保健福祉センターの覚せい剤窓口（☎025-280-0113）へ。

☎健康支援課成人保健係（☎757-9764）

障害者虐待防止法が施行

「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」（障害者虐待防止法）が10月1日から施行されました。障がい者への虐待にかかる通報や届出、支援などの相談をお寄せください。関係する機関が連携しながら問題の解決にあたります。

●3種類の障がい者虐待

- ①養護者による虐待
- ②障がい者福祉施設従事者などによる虐待
- ③事業主などによる虐待

●障がい者虐待の5分類

- ①身体的虐待②性的虐待③心理的虐待④放棄・放任（ネ

グレクト）⑤経済的虐待

●相談・☎福祉課障がい福祉係（☎757-3782）、障がい者地域生活支援センターあおぞら（☎752-4444）

子育て



男女共同参画推進委託事業「子供の健やかな成長を進めるために③」講話と座談会

ひきこもりや不登校など、学校が苦手な子どもについて不安に思い、悩んでいませんか。「コミュニケーション能力を高めるには」をテーマに講話を聞いて、同じように悩んでいる人と話をして不安を解消しましょう。

日11月10日(出)午後2時〜4時
会中央公民館
¥無料
定20人
講 蕪澤文隆さん（長岡市スクールカウンセラー）
申・☎11月8日(木)までにフォルトネット代表・関口（☎752-4306）または、企画政策課協働推進係（☎

757-3693）

10月は里親月間

私たちの身近には、さまざまな事情で家族といっしょに暮らすことができない子どもがいます。この子どもを家族の一員として温かく迎え入れ、深い愛情と理解をもって育ててくれる人を「里親」といいます。里親の種類には「養育里親」「専門里親」「親族里親」「養子縁組里親」などがあります。支給される費用は、国で定めている基準により、里親手当・生活費・学校教育費・子どもの医療費などが支給され、里親の種類や子どもの状況などによって異なります。里親制度について詳しく知りたい人は、児童相談所に問い合わせてください。

☎南魚沼児童相談所（☎025-770-2400）

スポーツ



親子サッカー無料体験

親子でいっしょにサッカーを楽しみませんか。

日毎週月曜日午後7時〜9時
会西小学校体育館
対園児から小学生の親子
持運動のできる服装で室内シューズを用意
問富田（☎090-7011-0610）

ネージュスポーツクラブ フィットネスイベント

日11月10日(出)①午前10時〜11時30分、②正午〜午後1時30分、③午後2時〜3時30分
会サンクロス十日町
内・講①【太極舞】除村元子さん、②【タイガーキック】藤沢充さん、③【エアロビクス（ラテン）】野口由美子さん
申・☎10月31日(木)までにネージュスポーツクラブ（☎752-4377）

アルビレックス新潟 試合観戦ご招待

Jリーグディビジョン1第32節対川崎フロンターレ戦（自由席）に招待します。詳しくはアルビレックスのホームページをご覧ください。

くらし・相談



都市計画案の縦覧のお知らせ

都市計画法に基づき中心市街地の活性化を図ることを目的とした都市計画案「特別用途地区（大規模集客施設制限地区）」の縦覧をお知らせします。

一日金融公庫相談会

年末決済資金や賞与等運転資金、設備資金の相談を受け付けます。

日11月5日(月)午前10時30分〜午後4時

●持参するもの①過去2期分の決算書・申告書、直近の試算表、印鑑

会・申・☎11月1日(木)までに十日町商工会議所（☎757-5111）

コイヘルペスウイルス 病のまん延防止にご協力ください

9月に市内でコイヘルペスウイルス病が発生しました。まん延防止のため、コイの取扱いは十分注意してください。※このウイルスは人に感染せず、感染したコイに触れたり食べたりしても人体に影響はありません

◆川や池で釣ったコイを持ち

お父さんのための絵本講座

絵本は、子どもたちの心を育む大切なものです。その絵本をお父さんが読んであげるとは、より楽しんで子育てに関わるよい機会になります。しかし、どんな絵本をどのように読んであげたらよいかと迷うお父さんも多いのではないのでしょうか。この講座では、そんな絵本について学び、クリスマスに子どもへプレゼントする絵本まで決められます。

会情報館
対子育て中の父親（祖父も可）
¥無料 定先着20人
他保育ルームあり（利用する場合は、講座申込時にその旨お伝えください。）
申・☎11月2日(金)までに生涯学習課（☎757-8918）

◆第1回 11月10日(出) 午前9時45分〜11時45分
【テーマ】「子どもたちの心を育む絵本のチカラ〜電子メディアと絵本は何が違う?」
☎春日みどりさん（読み聞かせの会「どんぐり」会員、(財)出版文化産業振興財団認定読書アドバイザー)
◆第2回 11月23日(祝) 午前9時45分〜11時45分
【テーマ】「お父さんが読んでくれる絵本は格別〜お父さんが絵本を読むことの意外な効果〜」
☎千保木美代子さん（子育てサークル・おはなし「たまてばこ」代表）
◆第3回 12月8日(出) 午前9時45分〜11時45分
【テーマ】「絵本選びのポイント教えます!〜今年のクリスマスプレゼントは絵本を選んでみよう〜」
☎江村かおるさん（津南町の読み聞かせボランティア「おはなしおかあさん」会員）
※3回すべてに参加できない場合は、申込時にその旨お伝えください。ご相談に応じます
※講座では主に幼児向けの絵本を扱います。また、毎回お薦めの絵本を紹介します

十日程市下水道フェア

～下水道 お水がいつても またくるね～

☎上下水道局下水道維持係
☎757-3142

市では下水道の水洗化促進と「水環境の保全」「生活環境の向上」など、安全で快適な生活に必要な下水道について関心を深めてもらうため、毎年「十日程市下水道フェア」を開催しています。今回は10月28日(日)に行われる「第31回松之山産業祭」の会場内で開催しますので、ぜひおいでください。

日10月28日(日) 午前10時〜午後3時
会松之山体育館・自然休養村センター
内下水道の紹介及び模型、テレビカメラ車の展示・実演、節水型トイレの展示、エコ粗品などの無料配布、無料ミニゲーム（ミニストライクナイン・わたあめ・水ヨーヨー・射的・風船）
※会場の都合により、内容は変更する場合があります

下水道接続のお願い

市では、くみ取り便所の水洗化とともに、浄化槽を使用している人にも下水道に接続するようお願いしています。1日も早い下水道への接続をお願いします。

10月は「土地月間」

■問合せ
都市計画課都市計画係 ☎757-9937

◎一定面積以上の土地取り引きには届出が必要です
国土地利用計画法では、国土の適正かつ合理的な土地利用を確保するため、法定面積以上の土地取り引きを行った場合、土地の所在する市町村を通じて都道府県知事に届出することを義務付けています。

◎24年度新潟県地価調査結果
地価調査は適正な土地価格を公表し、土地売買の目安にしようというものです。市内基準地の標準価格は次のとおりです。地価調査結果の関係書類は都市計画課、または市ホームページで閲覧できます。



帰つてため池などに放たないようにしましょう。

◆弱つたり死んでしまったコイは川や池に捨てず焼却または埋却してください。

◆コイの移動を自粛してください。

◆コイを購入する際は、コイヘルパスウイルス病検査を受けているか確認しましょう。

◆コイを飼うときは、河川水の使用を避け、地下水やカキ抜きした水道水を使いましょう。

☎農林課農業振興係（☎757-9922）

沖縄戦で亡くなった人の遺族の皆さんへ

沖縄県糸満市の平和記念公園内に、沖縄戦で亡くなったすべての人の氏名を刻んだ記念碑「平和の礎^{いしじ}」があります。まだ刻銘されていない人への追加刻銘のご案内です。

☎昭和19年3月22日〜昭和21年9月7日の間、沖縄県区域及び南西諸島周辺で、沖縄戦が原因で亡くなった人間福祉課援護係（☎757-

9739）、県福祉保健課援護恩給室（☎025-280-5180）

平成26年1月から、記帳・帳簿などの保存制度の対象者が拡大されます

個人の白色申告者のうち前々年分あるいは前年分の事業所得、不動産所得または山林所得の合計額が300万円を超える人に必要とされていた記帳と帳簿書類の保存が、所得税の申告の必要がない人も含めすべての人に必要となります。記帳・帳簿などの保存制度や記帳の内容の詳細は、国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp>）に掲載されていますので、ご覧ください。

☎十日町税務署個人課税部門（☎752-3181）

シルバー人材センター事務所移転のお知らせ

●新事務所業務開始日10月22日（月）
●住所10日町市本町2本町分庁舎4階
☎十日町地域シルバー人材セ

行政書士による外国人無料相談会

在留資格、国際結婚、永住許可や帰化、困りごとなどの相談を無料で受けます。

☎10月20日（土）午後1時〜4時 ※事前予約不要

☎新潟県国際交流協会（新潟市）

●対応言語11日本語、中国語、インドネシア語、タガログ語、英語

☎新潟県行政書士会新潟支部（☎090-2227-0401）

【面談または電話で相談できます。☎025-241-1881、午後1時〜4時】

10月は「受信環境クリーン月間」です

放送電波の受信障害は、家

寄付ありがとう

9月25日届出分まで（敬称略）

- とおかまち応援寄附金＝谷信一（北海道沙流郡平取町）、大串元一（埼玉県さいたま市）、武者政実（東京都中央区）、小林勝治（東京都世田谷区）
- 環境推進費寄附＝高木沢企業㈱（10,000,000円）
- 交通遺児援助基金寄付金へ＝上町 俄・代表 石田央之（25,248円）

庭用・工業用電気製品から発生する電気雑音やテレビ受信用ブースターの異常発振、不法無線局、高層建築物によるビル陰障害などによって起ります。特に、「不法無線局」から発射される不法電波によりテレビ・ラジオが妨害を受けるケースもあり、電波利用環境の悪化が懸念されています。「テレビがきれいに映らない」「ラジオに雑音が入る」といった電波に関する相談は、信越総合通信局へお寄せください。

☎無線設備への混信や違法な無線設備の情報・監視調査課（☎026-234-9976）、テレビ・ラジオの受信障害・受信障害対策官（☎026-234-9991）、そのほかの情報通信の行政相談…総合通信

ネージュがゆるキャラグランプリにエントリー

雪まつりマスコットキャラクターのネージュが、ゆるキャラグランプリにエントリーされました。昨年在上回る上位入賞を目指し、ネージュ投票にご協力ください。投票の詳細い方法はホームページ（<http://www.yurupri.jp>）をご覧ください

●実施期間11月16日（金）まで ※1日1回投票が可能です。携帯電話からも投票できます

☎観光交流課（☎757-3100）

無料調停相談会

調停制度の手続き、利用方法について、裁判所の民事・家事調停委員が無料で相談に応じます。予約不要。※秘密は厳守されます

☎10月30日（火）午前10時〜午後3時（正午〜1時は休み）

☎中央公民館
内 借金・近隣トラブル・不動産・交通事故・相続・離婚・

家庭内トラブル
☎十日町簡易裁判所（☎752-2086）

ツキノワグマによる人身被害に注意！

9月21日には魚沼市で農業中の男性がツキノワグマに襲われる被害が発生しました。今秋は山の実りが不作で、里へのクマの大量出没が予想されています。農作業などの際にはクマに十分注意し、クマを寄せ付けないためにごみや作物などは放置せず管理してください。クマに出会った際は、あわてずそと下がりながら離れます。万が一、クマに襲われた場合は、首などを覆って地面に伏せるなどして、急所を守ってください。

☎農林課林政農災係（☎757-9917）

【お知らせ】
市報9月25日号19ページでお知らせした「遺言・相続に関するセミナーと無料相談会」で、10月17日（水）クロスステンドで行われる市民向けセミナーの時間が午後2時から午後1時30分に変更されました。

を著した蘭学者であり、平賀源内の門人として戯作者・狂歌師として活躍した著名人です。

物語の舞台は、越後国妻有郷南 鐙坂村。そこで上演された旅芝居をめぐり、登場人物の会話に当地の方言や風俗をちりばめ、滑稽描写に徹した内容となっています。諸国を旅した万象は、実際に南鐙坂を訪れて見聞したのかもし



(早稲田大学図書館所蔵)

この本の作者の森羅万象は本名を森島中良といい、幕府医・桂川家に生まれ、『紅毛雑話』など

江戸の戯作者が描いた
南鐙坂の旅芝居
天明七（1787）年刊・
洒落本『田舎芝居』

れき たん
歴探！

古文書が語る
ふるさとの歴史

七の巻

れません。

特筆すべきは、その序文で「当代の洒落本は遊里での男女の生熊をうがち過ぎた内容に陥っている。本来の戯作性を追求し、おかしみを専らとせよ」と問題提起し、同書で洒落本の方向性を示したことです。これを読んだ山東京伝は自分を批判していると立腹し、万象と絶交。一方で、十返舎一九の大ヒット作『東海道中膝栗毛』に多大な影響を与えたといわれています。

■問合せ…博物館

☎ 757-5531

福清村

くずし字がもうイデ

(クイズの答えは31ページ)

ねき ねき ねき
おき ねき ねき
はく ねき ねき
くみ ねき ねき
～はくくみの
まちづくり運動～

**できることから、
やってみよう**

●問合せ：生涯学習課 ☎ 757-8918

【今月のテーマ】

体力をつけましょう

10月は「体力づくり強調月間」です。

体力は、健康を保ち、活力に満ちた明るい生活を営むための基盤となるものです。近年は、生活習慣病の増加や子どもの体力・運動能力の低下などが問題となっていて、食生活の改善とともに「体力づくり」がますます重要となっています。

親の世代と比べ、今の子どもたちは身長・体重とも体格は良くなりました。しかし、走る力や跳ぶ力、投げる力は30年前と比べて大幅に

ダウン。体力の低下が目立っています。

筋力や瞬発力、持久力、調整力などの体力をつけることは、けがを防ぎ、元気で活発に活動するためにとても大切なことであり、体温調節能力や免疫力などが向上し、健康な体を保つことにもなります。

こうした能力は、子どものころにさまざまな遊びを通じて、体を動かす中で養われていくものです。特に、体のバランスをとるなどの身体能力は、幼少期に基礎が養われます。大人になってからも元気に生活できる体力を身につけるには、子どものころから、その発育段階に合わせた基礎体力を養っておくことが重要です。

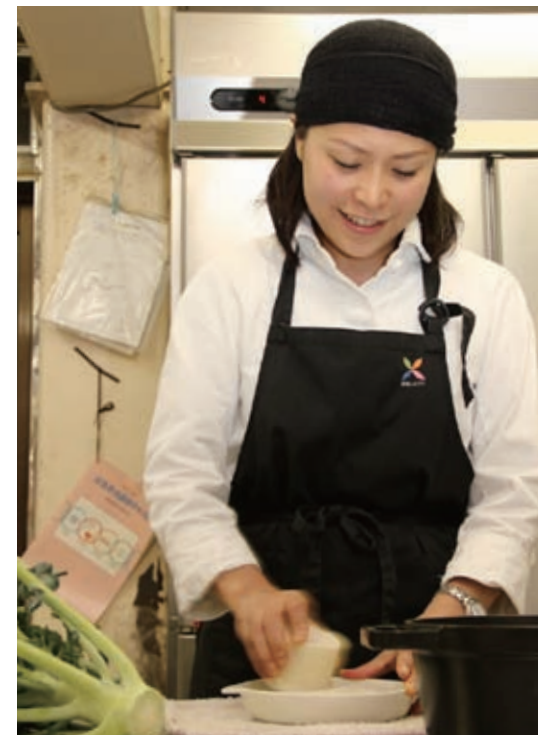
皆さんの家庭でも親子でいっしょに体力づくりを始めてみませんか。



ときめき
ネットワーク

この地の良さをさらに広めたい

平成8年に埼玉から松之山に嫁いできました。来たときは水道水のおいしさ、夜空のきれいに感動しました。その上、米や野菜、温泉など、知れば知るほどこの地には素晴らしいものがあると気づかれます。数年前、玄米菜食を中心とした食事「マクロビオテック」と出会いました。昔からここで食べられていた食材がマクロビのライフスタイルに合うことが分かり、研究を重ねています。今では、マクロビダイエツトカウンセラーやマクロビフードコンシェルジュ、野菜ソムリエなどの資格も取得し、旅館で提供する料理に生かしています。昔から料理が好きなので、健康や食に関することが趣味にもなっています。松之山は人の良さも自慢の一つ。ぜひこの地に来ていただき、人との触れ合いや料理、温泉などを楽しんでほしいと思います。



小野塚 裕子 さん
1972年生
和泉屋 若女将

先月の福原貴英さんからのバトンタッチ

地産地消 新鮮 おいしい
農家の皆さんが
丹精込めてつくっています。

十日町産を食べよう！

No.26 さつまいも（紅あづま）



秋の味覚の代表格、さつまいも。甘さを生かし、焼き芋からスイーツの材料まで大活躍です。

さつまいもは鹿児島県や茨城県が主産地ですが、市内でも作られています。その代表的な品種は紅あづまで、特徴は皮が華やかな紅色で、中身が鮮やかな黄色、ホクホクとした食感が甘み強いことです。さらに、ビタミンC・E、カリウムや食物繊維が豊富に含まれていて栄養価も高く、子どものおやつに最適です。

市内では、四季彩館ベジばーくや千年の市じろばたなどの直売所で買うことができます。ぜひ、十日町産の紅あづまをお試ください。

〈収穫時期〉 8月上旬～10月中旬

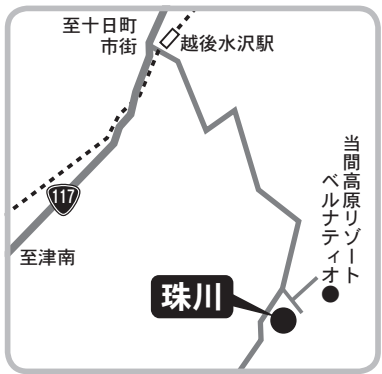
〈おいしい食べ方〉

焼き芋、ふかし芋、きんとん、大学芋、天ぷら など

●問合せ：農林課農業企画係 ☎ 757-3120



珠川集落は「当間高原リゾート ベルナティオ」の開業に伴い、それまで点在していた住宅が現在の場所に移転した集落で、38世帯164人が生活しています。そこで今年、前の世代から引き継げなかった伝統芸能を復活させ、次の世代へと継承するための活動



が始まりました。

今回は法界節とカラス踊り。住民に呼び掛けたところ、8月中旬に高校生からお年寄りまで、30人ほどの参加者が集まりました。集落の役員が率先して進め、練習は夜9時過ぎまで続きました。

そして手探りで始まった8月25日の祭り当日。歌・踊り・太鼓の先生に、若い人がそれぞれ一人ずつ付き30人以上の参加者といっしょに開始しました。「上出来」とはいけなかつたものの、大勢の住民が参加して盛り上げてくれました。

集落の活気を呼び戻すための呼び水として始まったこの活動。これからも伝統が続いていくことを目指します。

暮らしの護身術

～リンゴの訪問販売～

7

大学生の花子と祖母うめが家にいると、『リンゴ』の販売員が訪ねてきました。《販売員》産地からリンゴを持ってきました。試食だけでもどうですか。《うめ》りっぱなリンゴだなあ。～試食をしてみると、おいしいリンゴでした。～《うめ》うんめえなあ。これなら1箱もらってもいいろ。《花子》そうねえ、本当においしいわね。《販売員》ありがとうございます。今、トラックから1箱持ってきます。～しかし、販売員が帰った後で箱を開けると、試食したものと違う小さくて鮮度の悪いリンゴで

した。～《花子》騙されたわ。市役所の消費生活相談窓口相談しなきゃ。《アドバイス》十日町市でも食品の訪問販売に関する相談が寄せられています。必要ない場合は、きっぱり断りましょう。購入する場合は、値段を確認し、商品を見て、必ず契約書を受け取りましょう。契約書面を受け取ってから8日間はクーリング・オフが可能です。【注意情報】①今月も投資に関する相談が引き続き寄せられています。「外国の農業耕作地の使用権」、「仏像」、「外国の通貨」の販売です。代わりに買ってくれたら高値で買い取るなどの“おいしい話”にはご注意ください。②健康食品、写真集、海産物などの電話勧誘や送りつけ商法の相談が増えています。●問合せ：十日町市消費生活相談窓口（産業政策課商工振興係内 ☎757-3740）平日／午前9時～午後4時

▼今回の市報では特集として大地の芸術祭をまとめました。作品を作る作家と、おもてなしで芸術祭を盛り上げる住民、芸術祭を支えているこへび隊と地元サポーター、そして、芸術祭を楽しんでいるお客さん。このすべての皆さんが主役として輝いたお祭りだったと思います。そこで垣間見られた、皆さんの喜びと感動を記録に残し、多くの人にお伝えできればとの思いで担当一同、取材を進めてきました。▼市内の全集落の2分の1、とりわけ山間部では多くの集落の皆さんから参加していただきました。過疎や高齢化などの地域の課題にも一石を投じたこのイベントを体験することができ、とても光栄でした。



▼この市報が発行されているときにはすでに終了していますが、24時間耐久リレーマラソン「ロ・マン24inまつだい」に向け、トレーニングに励んでいます。昨年は惜しくも100周に届かなかったので、今年は100周を目指しています。結果はにかに……！▼大地の芸術祭が終了した途端、季節は一気に秋の装い。昼夜の寒暖差が大きい季節となりました。朝、トンネルを抜け松代地域に入ると、そこは真っ白な世界。そう霧です。山の上に登ればきれいな雲海として拝むことができるのでしよう。いつか写真に収めたいと思います。



あすはたわ

わが家のアイドル（4歳未満の幼児）募集中！
申込み・問合せは企画政策課秘書広報係 ☎757-3112まで



小林 茜里ちゃん
こばやし あかりちゃん
平成22年11月2日生まれ
松之山松口

お散歩が大好きな茜里ちゃん。近所にあるキョロ口は定番のお散歩コースです。松口に年の近い子どもはいないけれど、明るい茜里ちゃんは地域の人々に愛されて育っています。

あいどるきゃち

88



田村 銀汰ちゃん
たむら ぎんたちゃん
平成21年3月3日生まれ
妻有町東

今年の夏はプールで顔を水につけられるようになった銀汰ちゃん。日曜日にお父さんといっしょにサッカーをするのが大好きです。将来の夢はサッカー選手になることです。

元気なお年寄りを紹介し、
健康の秘けつなどをうかがいます。

和顔愛語
～はつらつ おばあちゃん～

2



江村 ノブさん（中手・92歳）

昨年、地震で被災した家を小さな家に改築。「その費用で施設に入ることも勧められたけど、やっぱり中手が一番」と、にっこり。はじめてのひ孫にも恵まれ、大好きな畑仕事で自慢の野菜作りが励みです。（市民リポーター：門脇洋子さん）

元気予報



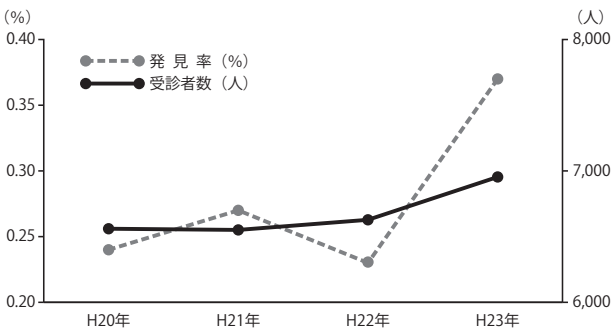
早期発見のために
がん検診を受けましょう

大腸がん発見には
毎年の検診が重要

大腸がんは、戦後から急速に増えてきているがんの一つで、市内のがん死因でも上位となっています。大腸がんは、初期はほとんど自覚症状がないため、検診での早期発見が大切です。平成23年度に市の大腸がん検診を受診した人は6,954人です。その中でがんが見つかった人は26人で、がん発見率が0・37%と急増しました（図1参照）。がんが発見された人を調べると、自覚症状はなく、8割の人は前年度に大腸がん検診を受けていました。このことから、毎年受けることが重要です。

クーポン券で
検診を受けましょう
「大腸がん・子宮頸がん・乳がん検診」では年代を定めて無料クーポン券を発行し、がん検診を勧めています。5月10日号の市報8ページで紹介していますのでご覧下さい。各種がん検診未受診の人へ
本年度のがん検診終了日が迫っています。胃・大腸・乳・子宮頸がん検診を受けていない人は健康力レンダーを確認の上、問い合わせください。（どの会場でも受診が可能です）

図1 大腸がん検診受診者数と発見率



市の健康増進計画「健康とおかまち21」ではがん検診の受診を勧めています。検診を受けましょう。

表彰おめでとうございます



内閣総理大臣表彰
(防災功労)

十日町市消防団

平成23年7月新潟・福島豪雨に伴う水防活動の功績が認められたことが受賞につながりました。

中里 交通安全お願いします！

9月21日(金)：中里ショッピングセンターユーモール

秋の交通安全週間をアピールするため、中里なかよし保育園の年長園児の皆さんが、買い物客の靴のかかとに反射シールを貼り、交通安全を呼び掛けました。



十日町 キルト展を楽しみに、県外のお客さんも

9月15日(土)～30日(日)：市民体育館ほか

今年で9回目となるきものの街のキルト展。街中に作品が飾られ、市民体育館には、特設展とコンテスト作品が展示されました。来場者は、コンテストに入賞した作品の出来栄の良さに称賛の声を上げていました。

【27ページ「歴探！」くずし字村名クイズ答え】
…程嶋村



このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。
情報がありましたら、企画政策課秘書広報係（☎757-3112）
へ気軽にお寄せください。

十日町 外来植物をやっつけ、川辺の自然を守ろう！

9月8日(土)：つまりっ子ひろば



水辺の楽校活用協議会の皆さんが、アレチウリの駆除活動を今年も実施。アレチウリは外来植物で、もともとある植物を枯らすなど、生態系に悪影響を与えるため、10年前から継続して駆除しています。

るため、10年前から継続して駆除しています。



松代

ママ似合ってるよ！

9月29日(土)：松代総合体育館

松代保育園の運動会が開催されました。いろいろな親子競技では、園児が親を仮装させるルール。他にもたくさん親子競技があり、家族の絆を深めていました。



☎=市民リポーター

市民リポーターによる市民目線でのレポートです。市民リポーターはいつでも募集していますので、興味のある人は問い合わせてください。

まちの話題

TOWN TOPICS

川西 いつも元気をもらいに来ています

9月27日(木)：川西総合体育館

NPOほほえみでは、お年寄りがお茶を飲みながらおしゃべりしたり、軽運動をしたりして過ごす交流の場を提供し、気楽に集える雰囲気づくりを心掛けています。参加しているおばあちゃんは、「楽しくて時間が過ぎるのがあっという間、いつも楽しみにしています」と笑顔で話していました。



中里 十高吹奏楽部 駅前ミニコンサートで新たなスタート

9月15日(土)：越後田沢駅前

県立十日町高校吹奏楽部が行進曲「希望の空」など7曲を披露しました。新部長の野上茜さん（2年生）は、「3年生が引退し、1・2年生だけの初舞台でしたが、楽しんで演奏できました」と笑顔を浮かべていました。



松之山

万一に備えます！不老閣で夜間の防災訓練！

9月12日(水)：特別養護老人ホーム不老閣

特別養護老人ホームでは有事に備えた防災訓練が欠かせません。この日は「職員が少ない夜間の火災発生」を想定し、消防署・消防団と連携し、通報・初期消火・避難誘導の訓練を行いました。担当職員は、「夜間訓練は負担が大きいです、入居者の安全を守るため、継続して実施したい」と抱負を語っていました。



十日町

石彫作品50体がピカピカに

9月15日(土)：中心市街地

地元郵便局の皆さんで組織する郵便局郵便連絡会中魚沼東部会では、「地域に根ざす郵便局をつくる」ことを目的に、石彫作品の清掃ボランティア活動を行いました。当日参加した29人が50体の作品の汚れを丁寧に洗い流すと、作品は一段と輝いて見えました。





たんぽぽばたけ



村山 ^{かのん} 風音さん (1年)

わたしは、ちぎった紙でうさぎさんとたんぽぽをつくりました。クレパスでいもむしとカブトムシとクワガタとりんごの木などをかきました。



若葉タイフーン



村山 ^{ゆうき} 優輝さん (2年)

運動会の若葉班種目をがんばったところをかきました。工夫したところは、まん中にぼくをでっかくかいたところです。



ジュニア芸術祭

88

下条小学校



ふしぎな森のおく



水落 ^{まひろ} 真優さん (3年)

不思議なことに、夏なのに森の奥に雪のかまくらがあることです。一番気に入っているのは、家の窓にカーテンをつけたところです。



夜の海



田中 ^{ひろと} 大翔さん (4年)

ビーズのひもをとおすあなが見えなくなるようにしてビーズをつけるのが大変でした。ビニールテープをちぎって波を作るのが上手にできました。



ぼくの好きな体育館



水落 ^{ともき} 友希さん (5年)

休み時間にいつも遊んでいる体育館をかきました。体育館を立体的にかくのがむずかしかったです。屋根や壁の色を工夫していねいにぬりました。



十日町の宝・
火焰型土器



丸山 ^{そうた} 壮太さん (6年)

自分たちでとってきた土と砂をねん土に混ぜ、手が痛くなるまでねり、ひもを作って少しずつ積み上げました。鶏頭冠把手を作るのが難しかったです。